



長崎県議会議員

わたなべ敏勝 だより

No.61 2018年4月 発行責任者 渡辺敏勝 編集責任者 中山好文

あなたとつくりよう！ 未来の長崎・活力長崎！

新年度スタート！



平成30年度の新年度を迎え、新しく入学した学生や、社会人になったピカピカの1年生の姿を見ると心が陽気になる季節になりましたが、皆様お元気で過ごしのことと存じます。

今回の定例県議会は2月に県知事選挙があったため、いつもより遅く3月開会になりました。中村知事は今回の議会冒頭、「一人に生きがい」「産業に活力を」「暮らしに潤いを」の3つの基本方針を基に予算編成を行ったと報告し県知事3期目のスタートを切りました。この新しくなった県庁で、平成30年度の予算等を審議した3月定例県議会が開かれ、私が1年ぶりに新しくなつた県議会場で、3月12日に一般質問を行いました。当日は県庁の見学も兼ねて多くの人が傍聴に駆けつけて頂き本当に感謝いたします。傍聴席は後方からに加え、横からも傍聴することができるように、子供連れでも傍聴できる部屋を用意しています。また、2月議会からは新しい常任委員会のメンバーとなり、私は環境生活委員会に所属するとともに、県の監査委員にも就任いたしました。

さて、表紙の写真は新県庁舎の8階の展望フロアからの風景です。稲佐山や女神大橋、彦山、金比羅山などが一望に見ることが出来る素晴らしい眺めです。是非一度新県庁に来てみてください。

さあ！新年度も元気を出して頑張るぞ！

長崎県議会議員 わたなべ敏勝

環境衛生委員会報告

県内初のスマートIC完成！

3月議会から常任委員会の新しい所属が決まり、私は環境部、県民生活部、土木部、交通局を担当する「環境生活委員会」委員になりました。今議会では平成30年度の1年間の予算や主な事業を審議しましたので、その主なものを報告いたします。

環境部

▼(新)地球温暖化対策推進費

…2709万円
県の地球温暖化対策実行計画のCO₂削減目標に向け、県民一体となつた地球温暖化対策を推進。

▼諫早干拓調整池の環境保全対策

…1038万円

調整池の水質保全や中央干陸地におけるヨシ活用や、再生可能エネルギー発電導入の可能性調査を実施。

▼資源循環型社会推進費…6517万円

食品ロス削減のため、飲食店との連携や、フードバンクに係る統一したガイドラインの策定・協力企業の掘り起こし等を実施。

県民生活部

▼企業における女性活躍推進事業費

…1826万円

女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画策定の支援や、女性育成セミナーなど、企業の意識改革から具体的な取り組みまでを支援。

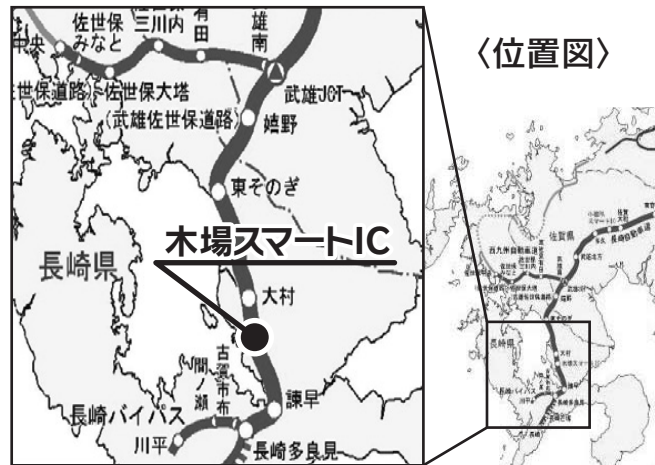
▼「なくせ」高齢者の交通事故総合対策事業費…410万円

交通事故死者の約7割を占める高齢者について、交通事故の被害者

土木部

▼九州横断自動車道の県内初のスマートインターチェンジ(IC)完成

3月18日に諫早ICと大村ICの中間の木場パーキングに接続する県内初となるスマートICが完成。総事業費約34億円。このICはETC専用となっており、完成によって国立



〈位置図〉

病院長崎医療センターに直結することになりました。
重要幹線街路費…98億1500万円
長崎駅周辺連続立体交差事業ほかの街路事業等に要する経費。
交通安全施設費…37億3900万円
長崎市の国道202号線など交通安全施設等の整備に要する経費。

交通局

▼建設改良費…3億8700万円

中古車両12両を含む20両の事業車両の購入、並びに車両改造にかかる経費。

▼生活路線維持対策負担金

…5922万円

地域住民の生活交通の維持を図るため、広域的なバス路線の運行に必要な経費のうち、収支不足となる額に対する負担金。

〈拡大図〉



春夏秋冬

…熱狂した平昌五輪では羽生・小平・高木姉妹等の活躍で過去最高の13個のメダルを獲得した。続くパラ五輪でも38名の選手が出場し、金メダル3個を含め10個のメダルを獲得した。メダルは勝負の結果であり、参加したことだけでも賞賛に値する。日の丸を背負って全力で戦った出場全選手に「あっぱれ」だ。

…一方、2月の東京マラソンでは設楽選手が16年ぶりに日本記録を塗り替える2時間6分11秒でゴールしたが、見逃せないのは序盤から先頭集団で新記録を予感させる走りを見せたMHP Sの井上選手だ。2時間6分54秒の日本歴代4位でフィニッシュし日本代表を担う選手へと躍り出た。東京五輪が待ち遠しい。

県会議員

わたなべ敏勝

ご相談は
お気軽に



お急ぎの方は
携帯TELへ 090-3320-0507
自宅 878-1801
生活相談室 861-1985



3月定例議会報告

総額6960億円の一般会計予算可決!

長崎県議会3月定例議会は3月5日から28日までの日程で開かれ、平成30年度の一般会計予算6960億円の当初予算など98の議案を可決すると共に、長崎県犯罪被害者等支援条例制定を求める意見書など計3件の意見書を採択し3月議会を終了しました。

今議会は中村知事が4年間の県民の負託を受け、県の課題である県民所得の向上対策や、人口減少にどう歯止めを付けていくか重要な方針を提示していくもので、開会にあたり知事は「行政と県民との連携・共同体制を強化し、総力を結集し課題解決にあたりたい」と所信を表明しました。

また、今議会で1年に1回の一般質問を行いましたので、その質疑内容と、新規事業の主なものを報告いたします。質疑の全容は渡辺県議のHPをご覧ください。

渡辺県議の質問で明らかになった主な内容

1. 3期目に向けた知事の基本方針について

A 中村知事は県民所得が40位台と長期低迷が続く、人口減少に歯止めがかからないこのような長崎県を、どのような産業で活性化しようとしているのか、その主な産業を示していただきたい。

A 地域のDMOを今から推進するに当たり、現在の課題と今後の取組をどうしようとしているのか。

A 県民所得向上対策に向け、主要産業である製造業、農業、水産業、観光業及びサービス業に具体的な数値目標を掲げ、この5分野の産業振興にしっかりと取り組んでまいりたい。



質問席から県政を質す

2. 観光立県長崎の取り組みについて

A 私は、特に、観光という産業を今後いかに活性化していくか、ここが長崎県の一つの大きな活性化のポイントになるのではないかなと思っている。

A 観光産業で、「観光DMO」という言葉が今、盛んに使われているが、そもそもこのDMOというのは何なのか、わかりやすく説明していただきたい。

A DMOは、ドスティネーション・マネジメント・オーガニゼーションの略で、具体的には、観光によって地域に持続的な経済効果をもたらすことができるよう、専門性を持つ人材によるマーケティングやプロモーションを展開し、農林水産業や商工業関係者など、観光まちづくりに参画するさまざまな関係者を巻き込み、観光地経営を担うかじ取り役としての役割が日本版DMOとされている。

A DMO推進の取組に当たっては、多様な関係者の合意形成、マーケティング等の専門人材の充実、安定的な運営資金の確保などが大きな課題となっている。そのため県では、DMO候補法人を目指す団体に対し、登録までに必要な取組を支援するほか、専門的なマーケティング人材の育成を目的としたセミナーを集中的に実施することとしている。

【要望】
要するに、総合企画を統括する人材が必要だと思つので民間からの人を入れてでも、長崎県DMOの推進に向けて頑張ってください。

3. 県庁舎跡地の活用について

A 文化芸術ホール建設については、跡地活用検討懇話会の提言を受けているのになぜ建設しないのか。昨年の2月議会でも、私は中村知事に対して、文化芸術ホールの建設については強く要望しており、その後1年間が経過したがこの建設計画について、県の考え方を示していただきたい。

A 検討していた文化芸術ホールについては、長崎市が整備を検討しているMICE施設におけるホールとの機能重複に関する調整を行うため、市並びに市議会の検討状況を注視してきた。

長崎市では、2月市議会へのMICE関連議案の提出を見送られたところであり、長崎市並びに市議会の検討状況を注視し、その動向を見極めてまいりたい。

A 県庁舎の下にある大正期につくられた第3別館と、江戸時代の石垣の保存については、どのように考えているのか。

A 第3別館と石垣については、県庁舎跡地活用検討懇話会の提



大正期に建てられた「第3別館」

言の中で、取り壊すことを前提とせず、保存、顕在化等についても検討することになっており、今後の取扱いについては、広場など、主要機能を整備する際の全体配置への影響なども踏まえた上で検討する必要があります。

4. 企業誘致で雇用確保!

A 県立美術館の近くに完成したクレインハー

A 昨年12月完成したこのビルは、大学の新卒者などの就職先となり得る良質な雇用が期待できる企業を念頭に、誘致企業のニーズに応えられる受け皿として整備してきた。

事業を計画した折には、複数の企業からの誘致の案件もあり、一定の入居が見込まれていたが、その後の企業の事情の変化等もあり、現状にとどまっているところである。ただ、今でも複数の企業が視察に訪れたり、具体的に交渉を進めている案件もあるので、その誘致に最大の力をそそいでいく。

平成30年度に取り組み主な新事業

- ◆元気高齢者の活躍促進事業費：2100万円
 - ・高齢者が活躍する元気な長崎県を目指す。
- ◆競技力向上特別対策重点強化事業費 ……2200万円
 - ・東京オリンピックへの出場に向けた県内在住選手への支援。
- ◆周産期医療の機能分化推進事業費 ……1億3600万円
 - ・大病院の総合周産期母子医療センター整備を支援!

- ◆地域産業活性化支援事業費 ……2700万円
- ◆サービス産業振興加速化事業費 ……1900万円
 - ・生産性向上等の取組を支援し、サービス産業の底上げ促進。
- ◆外国人受入環境パワーアップ事業費 ……1000万円
 - ・外国人観光客が24時間365日利用できる多言語コールセンターの設置と運営。

- ◆長崎しま雇用・しま人材確保促進事業費 ……900万円
 - ・島の若者が島内で学び成長できる仕組を構築。
- ◆特殊詐欺被害防止コールセンター設置費 ……900万円
 - ・電話による注意喚起を行うセンター設置!

人に生きがいを!



産業に活力を!



暮らしに潤いを!

